



KODAK MAGNUS

Q800 プレートセッター

最高峰のパフォーマンスとクオリティを提供



高速・高品質のプレート出力…KODAKのフラグシップCTP

KODAK MAGNUS Q800 プレートセッターは、卓越した生産性と高品質なプレート出力で、多品種・小ロットの仕事から大ロットまで幅広い印刷会社のニーズに柔軟に対応するKODAKのフラグシップCTPです。菊全判サイズで毎時80版(Tスピードオプション)というクラス最速のスループットを誇り、MCU / MPLをはじめとする豊富な自動化オプションと組み合わせることで、自社に最適なシステム構築が可能です。さらに10ミクロンのKODAK STACCATOスクリーニング、KODAK PRINERGYワークフロー、KODAK SONORAプロセスフリープレートといった豊富なオプションとの融合により、MAGNUS Q800の生産性と品質は一段とステップアップできます。



**KODAK
SQUARESPOT**
IMAGING
TECHNOLOGY

柔軟性・生産性をさらに高める先進のオートメーション

プリプレス工程を自動化し、スループットと生産効率を最適化すれば、省力化・コスト削減という経営課題の解決につながります。MAGNUS Q800 プレートセッターには、幅広いビジネスニーズを満たす豊富な自動化オプションが用意されています。



コンティニューアスロード(CL)モデル

手作業でプレートをセットするセミオートモデル。次のプレートは露光中でも待機位置にセットでき、露光が終わりプレートが排出されると、コンティニューアスロード機能によって、自動的に機内へと送り込まれます。また、パンチヘッドは最大10個搭載でき、多種多様な印刷機に対応可能。



シングルカセットユニット(SCU)モデル

サイズ・厚みが同じプレートを、最大100枚(合紙含む)収納可能なカセットを搭載したフルオートモデル。オプションのトrolleyを使用すれば、カセット交換が素早く行えるため、プレートサイズの切り替えも容易です。カセットの挿入方向は右側アクセス(標準)、または左側アクセス(オプション)の利用が可能。



マルチカセットユニット(MCU)モデル

5段のカセットに合計500版が収納可能なフルオートモデル。各カセットにはサイズ・厚みが同じプレートを最大100枚(合紙含む)セットできるため、最大で5種類のプレートをカセットの入替なしで自動運用できます。また、露光中でも他のカセットに版を補充できるため、長時間の連続運転が可能です。カセットの挿入方向は右側アクセス(標準)、または左側アクセス(オプション)の利用が可能。



マルチパレットローダー(MPL)

シングルパレットモデル

サイズ・厚みが同じプレートを、1パレットに最大1,500枚(合紙含む)収納可能なフルオートモデル。



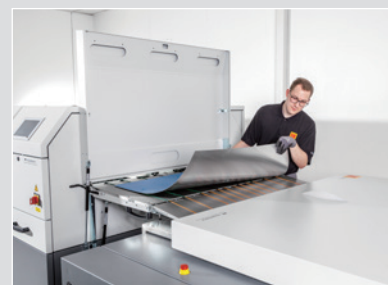
マルチパレットローダー(MPL)

マルチパレットモデル

最大で2パレット(1,500枚×2)+2カセット(100枚×2)まで拡張でき、合計で4種類3,200枚*のプレートが搭載可能なフルオートモデル。大量のプレートを長時間連続出力する印刷会社のニーズに対応。

(※パレットへのプレート搭載枚数に制限あり)

MPLの動画はこちら▶



マニュアルバイパス機能

SCU、MCU、MPLのフルオートモデルにはマニュアルバイパス機能を搭載。自動運転中でも異なるサイズのプレートを手動でセットして出力できるため、割り込みや急ぎの仕事にも柔軟に対応できます。

最高水準の安定性を提供

MAGNUS Q800には、実績あるKODAK SQUARESPOTイメージングテクノロジーを標準搭載。温度変化によるプレートの膨張・収縮を自動的に補正し、年間を通して、つねに正確で一貫したイメージングを実現します。またプレートローディング時の機械的な変動やプレートのサイズ・厚みのバラツキを補正するジオメトリック補正機能も搭載。これにより、SQUARESPOTテクノロジーを搭載したKODAK製CTPであれば、どの機種で出力しても、つねに高いイメージング精度を維持できます。

SQUARESPOTテクノロジーとKODAK STACCATOスクリーニングの組み合わせにより、モアレのない画像を忠実に再現し、印刷工程全体で優れた色調と色の一貫性を実現します。またダイナミックオートフォーカス機能は、現像処理時の変動に対して確かな安定性を提供し、ホットスポットなど微小な欠陥を防止します。

卓越した処理能力、容易なアップグレード

最新のTスピードオプションを備えたMAGNUS Q800は、1時間あたり最大で80枚のプレート出力を誇るクラス最速の8ページCTPです。このMAGNUS Q800は、フィールドアップグレードも容易です。当初は毎時28版のFスピード（標準）を導入し、ビジネスの成長にあわせて毎時45版のXスピード、毎時80版のTスピードへと、生産性を徐々にアップグレードすることができます。

稼働時間を最大化するリモートサポート

MAGNUS Q800は、インターネット経由でKODAKコールセンターとのリモート接続に対応。このサポート機能は、発生したトラブルの最大50%をリモートで診断・解決できるよう設計されています。KODAKのリモートサポートは、サービスエンジニアの訪問待ち時間が無く、最も迅速に対応可能なサービスツールです。

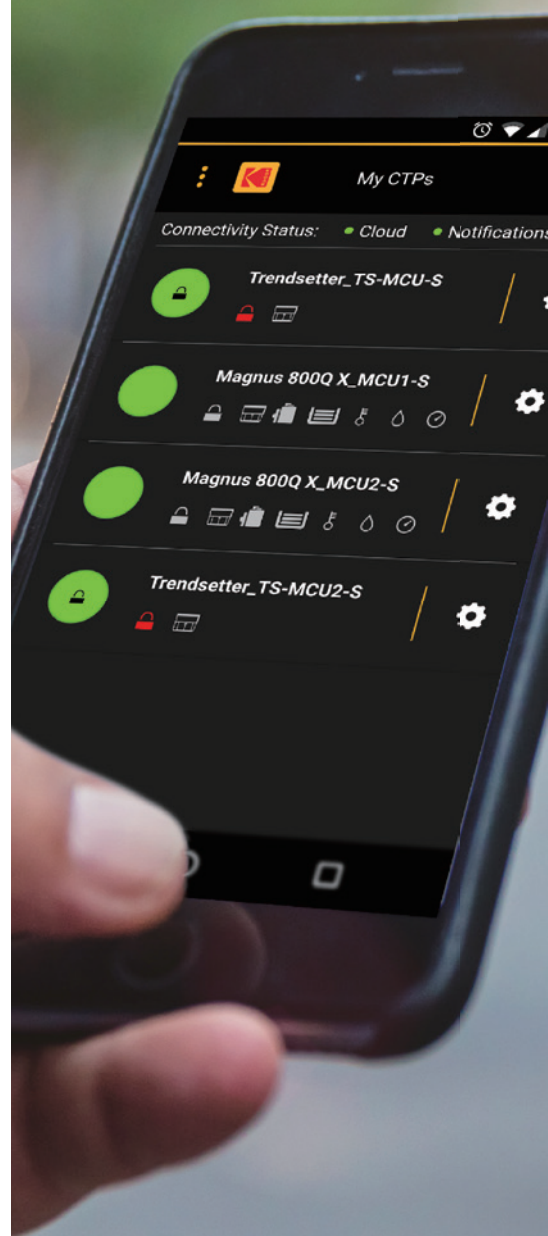
モバイルによる遠隔監視と操作

オプションのKODAK Mobile CTP Control Appを使えば、スマートフォンやタブレット端末(Android・iOS対応)から、MAGNUS Q800をリモートで監視・制御できます。刷版室が無人でもCTPの稼働状況やジョブの進捗状態が把握できるほか、キュー内の出力ファイルの再出力も可能です。



ランニングコストと環境負荷を大きく軽減

MAGNUS Q800のTスピードオプションと完全無処理CTPプレートSONORAの組み合わせは生産性と環境対応を両立した最良のソリューションです。生産性を犠牲にすることなく、現像処理による環境への影響を完全に排除できます。



KODAK MAGNUS Q800プレートセッター

一般仕様	
テクノロジー	880nm 赤外線レーザーダイオード SQUARESPOT サーマルイメージング、外面ドラム
内蔵パンチ設計	<ul style="list-style-type: none"> 最大 10 個のカスタムパンチを搭載可能 各パンチの運用はワークフローの定義にて自動選択 出力されるプレートの先頭側にパンチ加工
パフォーマンス仕様	
出力スピード ※1-2 (出力版数/時、2,400dpi)	<ul style="list-style-type: none"> 標準 : 毎時 28 版 (F スピード) オプション : 毎時 45 版 (X スピード) オプション : 毎時 80 版 (T スピード)
再現性 (繰返し精度)	同一版への 2 重露光で ±5 ミクロン
出力精度	同一装置で出力した 2 枚のプレート間で ±20 ミクロン
見当精度	露光イメージとプレートエッジ間で ±25 ミクロン
ワークフロー製品との接続	<p>標準で XPO TIFF ダウンローダーソフトウェアを搭載し、KODAK ワークフロー及びほとんどのサードパーティ製ワークフローシステムとの接続が可能</p> <p>オプション :</p> <ul style="list-style-type: none"> JDF / JMF コネクションオプションにより、PRINERGY との連携でジョブ及び CTP の稼働状況を把握可能 KODAK モバイルアプリケーション機能で、CTP 出力状況の遠隔監視及び再出力操作が可能
イメージング仕様	
解像度	<p>標準 : 2,400 / 1,200 dpi</p> <p>オプション : 2,540 / 1,270 dpi (T スピードは除く)</p>
最大スクリーン線数	450 lpi (STACCATO 10 はオプションで対応)
最大プレートサイズ ※1-3 (ドラム円周方向 × 軸方向)	950×1,163 mm
最大イメージサイズ ※1-3 (ドラム円周方向 × 軸方向)	938×1,163 mm
最小プレートサイズ ※1-3 (ドラム円周方向 × 軸方向)	330×305 mm
最小イメージサイズ ※1-3 (ドラム円周方向 × 軸方向)	318×305 mm
外形寸法/重量	
外形寸法 (高さ × 幅 × 奥行) / 重量	<p>本体 : 113×231×166 cm / 1,040 kg</p> <p>SCU : 146×231×433 cm / 2,076 kg</p> <p>MCU : 146×369×433 cm / 2,802 kg</p> <p>MPL シングルパレットモデル : 195×231×409 cm / 1,676 kg</p> <p>MPL セカンドパレットオプション : 195×231×541 cm / 1,961 kg</p>

※1 出力スピードは、使用するメディアの感度及びスクリーニング方式で異なります。

表中の数値は、感度90mJ/cm²のKODAK製TRILLIAN SPプレート使用時の場合です。(プレートサイズは軸送り方向で1,030mm、175線出力時)

※2 出力は、KODAKワークフローシステムを接続した状態での数値です。

※3 寸法精度は、0.15~0.3mmの標準プレート測定ゲージによる値で、0.15~0.2mmゲージ使用時には異なる数値となる可能性があります。
ご質問等は、KODAK営業へお問合せください。

©2021 Kodak. Kodak, Magnus, Prinergy, Sonora, SQUARESpot, Staccato および Kodak のロゴは、Kodak の商標です。

KODAK.COM/GO/CTP



コダック ジャパン

<http://www.kodak.co.jp>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表)
大阪:050-3819-1266 名古屋:050-3819-1265 福岡:050-3819-1270
仙台:050-3819-1255 札幌:050-3819-1250

2021-03